

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助演習 I Seminar of Social Work I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士国家資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。				
授業の目標				
①基本的なコミュニケーション技術を習得することができるようにする。 ②自己覚知に取り組み他者理解に努めることができるようにする。 ③主体的に考えるプロセスを重視し、自己表現できるようにする。				
授業の方法				
演習を中心に授業を展開するが、必要に応じてテーマに応じた講義を行う。 演習後には小レポートやディスカッションで振り返りを行う。				
学習の成果（学習成果）				
相談援助における基本的技術として自己理解・他者理解ができ、相手を意識したコミュニケーションができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の目標と進め方、成績評価について、諸注意等）、相談援助演習の意義、自己紹介ゲーム			
第2回目	自己理解① 自己概念を学ぶ			
第3回目	自己理解② ジェノグラム・私のルーツ			
第4回目	自己開示①			
第5回目	自己開示②			
第6回目	共感の体験①			

第7回目	共感の深さ②
第8回目	多様な価値観①
第9回目	コミュニケーションの基本
第10回目	言語的コミュニケーション：私のコミュニケーションスタイル
第11回目	非言語コミュニケーション：無言の話し合い
第12回目	ソーシャルワークの価値観
第13回目	ソーシャルワークの倫理
第14回目	ソーシャルワーカーの倫理綱領
第15回目	まとめ 社会福祉士になるために必要なこと

事前・事後学習 ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。常に分析をする視点を持つこと。

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	45%	1回3点とし、毎回評価する。授業の準備を整え、遅刻せずに出席していること。演習への積極的な参加。演習の目的を理解できていること。以上が達成されない場合には減点対象とする。
レポート	55%	演習時に配布するワークシートの内容と振り返りの内容を評価する。評価Sは、学びについて振り返りがしっかりなされているか。自己と向き合っているか。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書
「ソーシャルワーク演習ワークブック」相澤穰治・植戸貴子／みらい

履修上の留意点・ルール
私語、携帯電話の使用を禁止する。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。